

## 日本の英語教育の現状

グローバル社会の本格的な到来に向け、英語を求められる日本人の数はこれからますます増えていくことが予想されています。しかし、日本の英語教育はルールを覚えることばかりで、英語を使う機会が圧倒的に欠けていると感じる方が多いのではないのでしょうか。

例えば、受験英語では良い成績だったのに、海外旅行に出ると注文も十分に出来ない。気楽な会話なのに、どうにも気後れして言葉につまってしまう、そんな経験はないでしょうか。

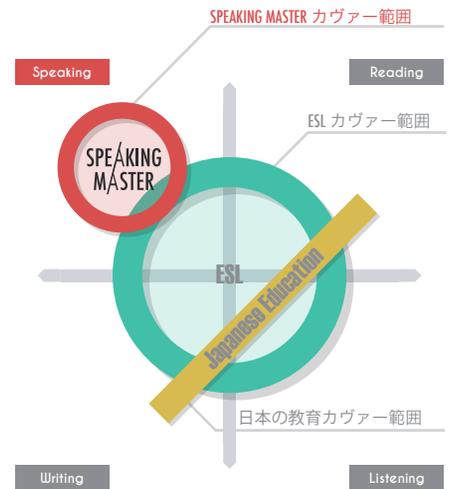
しかし、それはある意味では当たり前のことだと言えます。

何故なら英語は使う練習をしなければ、使えるようにはならないからです。

## 作成経緯

英語を使うと言っても、闇雲に使っていても変な癖がつき、正確に伝わるのかが曖昧なまま、この文で正しいのだろうか？という概念を抱きながら会話をしているのはいつまでも伸びていきません。

そこで、正しく、簡潔に、最も伝わりやすい表現を選び、素早くコミュニケーションが出来る能力を開発するプログラム、**SPEAKING MASTER**を作成しました。



## SPEAKING MASTER と ESL 5つの違い

Five characteristics that make speaking master



1

汎用性の高い厳選された単語、フレーズのみを使用

2

徹底的に発話を行うことで、短期間で英語の口の動きをマスター

3

マンツーマンならではの、苦手なパートにしっかりとフォーカス

4

オリジナル教材やボイスレコーダー、ビデオを用いた独自の授業

5

口語体でのライティングで、自分にとって身近なトピックを掘り下げる

### こんな方は必見



- とにかく英会話が必要な方
- 短期間で話せるようになりたい方
- 文法の知識が会話で活かせない方
- 海外旅行が趣味な方
- 海外生活を検討している方
- 海外ビジネスを検討している方
- 外国人の友達と もっと仲良くなりたい方

### 対象レベル



TOEIC	350 - 700
英検	3級 - 準1級
当校レベル	Low-Beginner - High-Intermediate

## 日本の教育特徴

1. 英語を使う、発話する機会が少ない
2. 自分の使う文が、会話表現として正しいか判断出来ない
3. 正しい発音やアクセント、抑揚を真似て発声する機会がない
4. 文法は知っているが、瞬時に適切な表現が出てこない

## 日本人の特性

1. 英語を話すための舌や口の動きに慣れていない
2. 人前で話すことや失敗することが苦手
3. 感覚的に英語をつかむのが苦手

## SPEAKING MASTER なら、こう解決

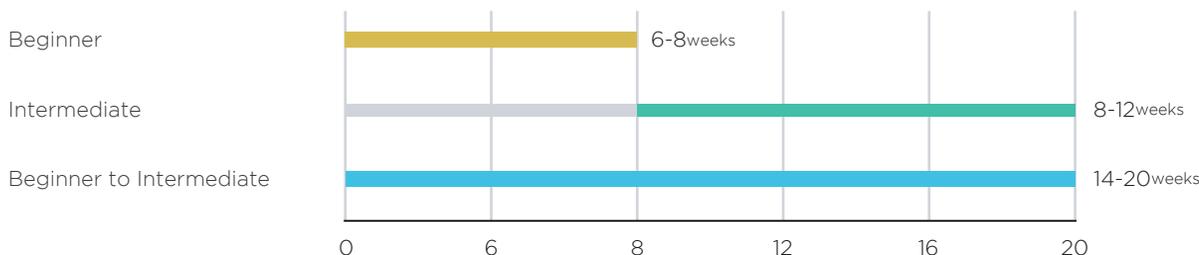


具体的な到達目標を設けることで、寄り道せずプログラムを進めます。

- 英語をとにかく使い、身体に馴染みこむまで徹底反復
- 自分の書いた文を講師が常にチェック、正しい会話表現に矯正します
- 自分の発音を常にチェック、苦手を知り、克服します
- 簡単な単語、文法のみを使用し、スピードと正確性を向上します



## カリキュラム習得推奨期間



## プログラム詳細

短期間で会話力を高めるために厳選された課題を扱います。全体的に集中力やタフさが必要なコースとなっています。教材は既存の教材とオリジナル教材を組み合わせを進めていきます。

<p><b>1:1</b></p> <p><b>Speed Talk Grammar</b></p> <p>基礎文法の反復演習を行い、 苦手を克服する</p>	<p><b>1:1</b></p> <p><b>Speed Talk Grammar 2</b></p> <p>文法エクササイズを通し、 正しい表現、使える表現を体得する</p>	<p><b>1:1</b></p> <p><b>Speed Talk Conversation</b></p> <p>会話における常套フレーズを、様々な シチュエーションに合わせて練習する</p>
<p><b>1:1</b></p> <p><b>Speed Talk Application</b></p> <p>課題にそって出来るかぎりの アウトプットをする、総合練習</p>	<p><b>1:1</b></p> <p><b>Speed Talk Reading</b></p> <p>口の中のトレーニングを目的に、様々な課 題を行い、フレーズを自分のものにする</p>	<p><b>1:8</b></p> <p><b>Speed Talk Vocabulary</b></p> <p>基礎単語を反復し、単語の実用的な使い方 を身につける</p>

※その他、毎日課題があります。